

(1)事業の概要等

事業番号	B0801-2
実施計画事業	○
実施計画事業以外の事業	

令和5年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	支え合いいきいきポイント推進事業					担当部			健康生きがい支え合い推進課		
	事業期間	平成29年度	～	令和7年度以降		担当課			支え合い協働推進課			
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本 施策	8	展開 方向	1	担当係			支え合いコミュニティ係		
	予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	14	大	3	中	3
	根拠法令・個別計画	こまき支え合いいきいきポイント制度実施要綱					事業種別			一般事業		
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	介護施設やサロン等でのお手伝い、高齢者のちょっとした困りごと支援などを通じ、地域での支え合い・助け合い活動の促進や、高齢者の介護への理解を深める。また、活動に応じて、市内限定商品券と交換できるポイントを付与することで、活動に参加するきっかけづくりや、活動を続けていく励みとしてもらうことを目的としている。										
	対象 (何・誰を対象に)	18歳以上の市民										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<p>【事業概要】</p> <p><ポイントの種類></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護施設ポイント…介護施設や介護事業所での補助的な活動 →介護への理解を深めるとともに、やりがいを感じながら、健康づくりを促進 ・サロンポイント…サロン※1や認知症カフェでの補助的な活動 →サロン運営の担い手を募る仕組みをつくり、サロン活動を活性化 ・地域ポイント…地域協議会※2が主体となって行う地域の高齢者のちょっとした困りごと支援に協力 →地域協議会の担い手を募る仕組みをつくり、地域の支え合い活動を支援 <p><付与ポイント等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護施設ポイント及びサロンポイント 200P/h(上限:200P/日 5000P/年) ・地域ポイント 100P/30m(上限:200P/日 5000P/年) <p><制度の改正等></p> <p>令和3年度から周知の強化や利用者の利便性を図るため、市の市民活動の拠点である市民交流テラス「ワクティブこまき」指定管理者の指定管理者である(市民活動ネットワーク)へポイント業務の受付等を委託した。</p> <p>●令和4年度の実施内容 お互いさまサポーター数 1,312人 ポイント交換者数 950人 付与ポイント数 2,688,300P 交換ポイント数 2,529,500P</p> <p>●直接経費(令和4年度) 報償費 188千円(介護特会2,342千円)、委託料 1,455千円</p>										
	受益者負担	無し										

(2)事業費

事業費	項目	単位等	R1	R2	R3	R4	R5
			直接経費	財源	千円	839	511
	一般財源	千円					
	国・県支出金	千円					
	その他	千円	2,491	998	1,537	2,342	
	計(A)	千円	3,330	1,509	2,877	3,985	
	対前年比	%	—	45.3%	190.6%	138.5%	
	予算額	千円	8,521	4,690	5,999	6,150	5,475
人件費	正規職員	人	2.00	2.00	2.00	2.00	
	正規職員(平均賃金)	千円	14,972	14,972	14,972	14,972	
	その他職員	人	1.50	1.50	0.70	0.70	
	その他職員(時給×時間)	千円					
	計(B)	千円	14,972	14,972	14,972	14,972	
	事業費合計(C=A+B)	千円	18,302	16,481	17,849	18,957	

(3)業績

展開方向における指標の推移		基本施策		8		展開方向		1	
指標名		単位	方向性	基準値	R2	R3	R4	R5	
1	支え合いいきいきポイント登録事業所・団体数	団体	↗	101	116	122	130		
2	お互いさまサポーター登録者数	人	↗	981	1,212	1,250	1,312		
3									

指標ほか		単位		R1	R2	R3	R4	R5		
指標	成果指標	支え合いいきいきポイント還元者数	人	目標	2,000	2,000	2,000	2,000		
				実績	1,008	774	833	950		
	活動指標		人	目標						
				実績						
単事業あたり	受益者数(a)		人	1,008	774	833	950			
	受益者あたり事業費(=C/a)		円	18,156	21,293	21,427	19,954			

(4)事業の評価

事業の方向性	拡大	対象の拡大や手段の充実等により、事業のボリュームを拡大すべきもの	
事業の評価	事業の達成状況と課題	<p>コロナ禍以降、支え合いいきいきポイントの対象であるサロン等が活動の中止や制限を余儀なくされ、目標値は未達成であるが、徐々に制限が緩和された令和4年度は、活動者数・交換者数ともに前年より増加し、回復傾向がみられる。</p> <p>令和3年度より本市の市民活動の拠点である市民交流テラス「ワクティブこまき」に受付窓口等を変更したことにより、お互いさまサポーター登録者以外の市民活動団体やボランティアに関心のある市民への周知、サロンの運営に係る相談機能が充実した。</p> <p>課題としては、高齢者サロンが各地区に概ね設立されたことにより、今後お互いさまサポーター数の増加は鈍化していくものと考えられる。</p> <p>また、各団体における担い手(特に代表者)のなり手不足により、団体の継続が難しくなることが懸念されるため、その負担軽減や、さらに地域活動のすそ野を広げる取り組みが必要とされている。</p>	
	今後の実施内容	<p>令和4年度に開催した、健康支え合い循環推進会議において、今後の支え合いの地域づくりについて議論がなされ、ポイント制度の新たな展開に向けた視点やアイデアが得られた。</p> <p>今後は、ポイントの対象者や対象となる活動について、検討するほか、既存のお互いさまサポーターやそのとりまとめとなる代表者の負担軽減について検討し、地域の支え合い活動のすそ野の拡大に努める。</p>	
	事務事業評価による額	千円	節